



1. 概要

- ◆実施日時：平成30年8月11日（土）10：00～12：30
- ◆場 所：愛媛県南宇和郡愛南町、宇和島市/高知県宿毛市 篠山
- ◆共 催：環境省土佐清水自然保護官事務所、ササヤマンス、篠山観光開発協議会
- ◆参 加 者：31名（募集定員30名/当日キャンセル5名）
- ◆天 候：くもり時々小雨
- ◆内 容：
 - ・篠山の魅力を知るウルトラクイズ
 - ・尺八、ハンドパン、ギターによる大自然ライブミュージック
 - ・ミュージシャンとレンジャーと地元住民のトークセッション

2. 実施風景

国民の休日「山の日」の8月11日、篠山自然学習館横の休憩舎に集合したのは参加者は31名、スタッフ13名の総勢44名。

涼しげな白滝の音をバックに、篠山に親しむ1日がスタートです！



(1) 篠山ウルトラクイズ

早速始まったのが、篠山ウルトラクイズ。篠山の麓の集落のひとつ「御^{みまき}槇」で使える豪華景品付きです。

景品付きの言葉に、参加者の顔も真剣そのもの。答えを知っていようがいまいが、悩みに悩んで答えています。

例えば、

「愛南町の“町の花”は次のうちどれか

①アケボノソウ ②アケボノツツジ ③アイナンツツジ」

答えは・・・②アケボノツツジ！

篠山といえばアケボノツツジですが、そのお膝元の愛南町が町の花にしていることを知っている人は、意外と少なかったようです。

この篠山ウルトラクイズ、篠山やアケボノツツジ、保全活動、近隣市町についてなど、篠山にまつわる要素を詰め込んだ、超難問そろいでした。

小学生以下の参加者も多く、これは大人に有利な結果におわるか・・・？と危惧しながら、正解させる気のない全6問を終えました。

おそろおそろ確認すると全問正解者は・・・なんと1名！文句なしの1位となりました。

そして1問間違いの5問正解もなんと4名！じゃんけんによる2位3位が決定し、大人も子どもも公平に景品をゲットできる結果になりました。

(写真左から、1位きょうこさん、2位あんなちゃん、3位あきちゃん)





(2) オープニングアクト

クイズの盛り上がりもそこそこに、休憩を挟んだら、尺八奏者の橋村岳遼山氏と、パーカッションニストの小田拓也氏のオープニングアクトが始まります。

白滝をバックに、尺八の渋い音とハンドパンの澄んだ音色が響き渡ります。

これまで聞いたことがない人がほとんどであろう、このセッション。滝の音と調和し、五感が研ぎ澄まされて、まるで自然に溶け込んでいく空気感でした。

子どもたちは、開放的な気分になったのか、滝や広場でおおはしゃぎ。

子どもは遊びまわり、大人はその笑い声を聞きながら、音楽に耳を傾ける。
そんな穏やかな時間が流れました。



(3) トークセッション

音楽の後は、しっとりとトークセッションタイム。

世界を旅するミュージシャン迫水氏と、日本中の国立公園を職場にするレンジャー山下、そして御槇に住み地元を愛するササヤマンス代表の児玉氏の三者で、自然と人との共生をテーマに話題を広げていきます。

そして、篠山に立ち返ったとき、何ができるのかを、三者だけでなく、参加者にも考えてもらいました。篠山そのものの新しい楽しみ方や、人のコミュニティ、知る機会、楽しむ場が必要なんだ、という意見が出ました。今回のイベントも、その一つのきっかけとして、評価してもらえたようです。





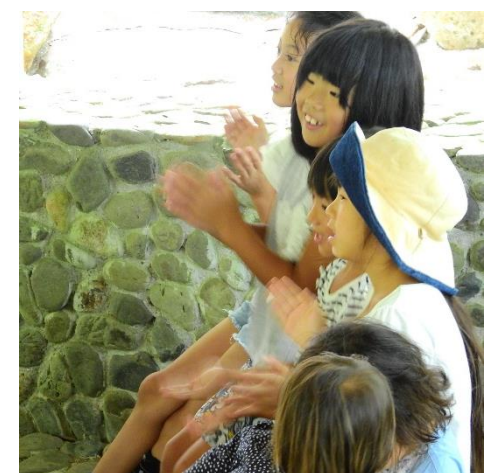
(4) ライブ

そしていよいよ、本日のメインイベント。
世界90ヶ国以上をギター一本で渡り歩いたミュージシャン、迫水氏のライブが始まります。
ソロからはじまり、橋村氏や小田氏とセッションしながら、しっとりした曲、賑やかな曲を披露。



山にちなんだ選曲した「やまびこ賛歌」では、西予市在住で歌手活動をしている女子高校生も飛び入り参加！
尺八、カホン、ギターの合奏にコーラスが加わり、踊りたくなるような歌が聞こえてくると、自然に手拍子をしてしまいます。自由に遊んでいた子どもたちも、音楽に引き寄せられるように舞い戻ってきてダンスや手拍子、飲食ブースでは、菜箸とお皿の即席打楽器が鳴っていました。

リズムの良い盛り上がりそのまま、ライブ終了。
拍手喝采の大団円で、イベントは無事終了しました。



3. 参加者のこえ

すべてのプログラムを終えての感想を寄せていただきました。星5つを最高として評価してもらいましたが、21名中15名が星5つ、5名が星4つ、1名は星6つ(!)と、高評価でした。そのなかで一部、参加者の声を紹介します。

- ・音楽も良かったし、山に登れなかったけど、これはこれで良かった。(40代 男性)
- ・歌が面白かったので、また来たいです。(小学校2年生)
- ・クイズで篠山の知らないことを知ることができたし、自然の中で音楽を聴くことがとても気持ちよかった。滝をバックに音楽がとてもマッチしていた。風邪にゆれる木の葉がキレイだった。(40代 女性)
- ・音楽がリズムよく心地よかった。山登りもいいかもと思った。(30代 男性)
- ・山が好きで一人で初めて登って見たのですが、怖くて、でもこの篠山に関わっている人はみんな暖かくて、また来たいと思った。山や自然が好きですが、その入り口が分かりませんでした。この篠山にまた来たいと思えました。また来ます。(30代 女性)
- ・音楽と自然のコラボが良かった。ゆるい感じもすきでした。(10代 女性)
- ・滝などのロケーションが良かった。尺八が良かった。篠山について少し知ることができた。(40代 女性)
- ・自然の中での音楽、気持ちよかった。スコーンおいしかった。(50代 女性)

4. まとめ



昨年に引き続き、祝日「山の日」を記念して行われた今回の篠山 Mountain festa 2018。

今回は残念ながら、山に登ったり、山頂でご飯を食べたり、という山ならではのプログラムはできませんでしたが、縁あって繋がったミュージシャンの方々をお招きしたことで、これまでにない国立公園・篠山の魅力を引き出すことができました。

0歳から大人まで、家族や友人、一人でも参加できる気軽さがあった今回のイベント。中には、これをきっかけに、篠山に登ってみたい、山もいいかも、と思ってくれた人たちもいました。

こういうイベントできっかけ作りをしつつ、将来的には篠山のファンになってもらえるよう、これからも新たな篠山の可能性を引き出すため、邁進していきます。

